

# OHBYカードの 特徴と開発の経緯

労働政策研究・研修機構 (JILPT)

アシスタントフェロー

菰田 孝行

# OHBYカードのセット内容



ケース

カード

説明書

OHBY  
CARD

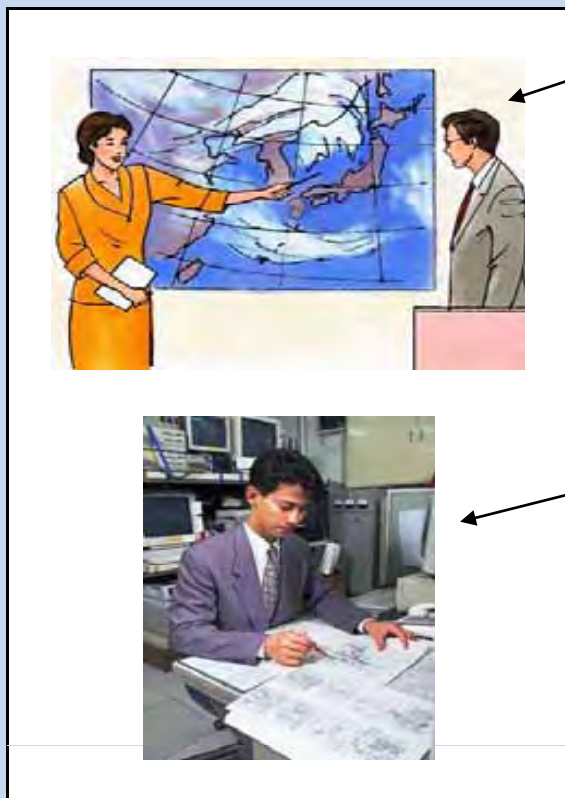
# OHBYカードの外観



表面

裏面

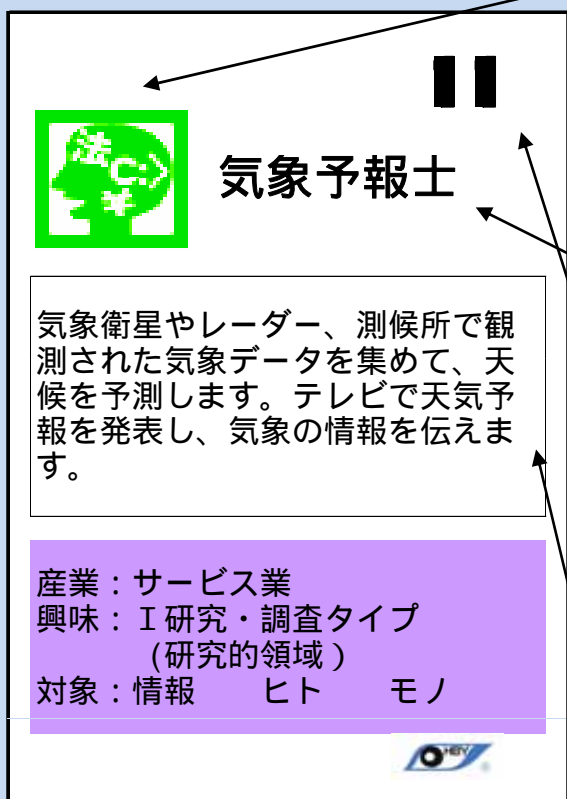
# OHBYカードの内容【表面】



**絵** : 職業ハンドブックOHBYから、その職業の内容を特によく表す絵を配置

**写真** : OHBYから、その職業の内容を特によく表す写真を配置

# OHBYカードの内容【裏面】



**職業分野(職業パノラマ)マーク:**

OHBYの「職業パノラマ」に使用されているマークを記載

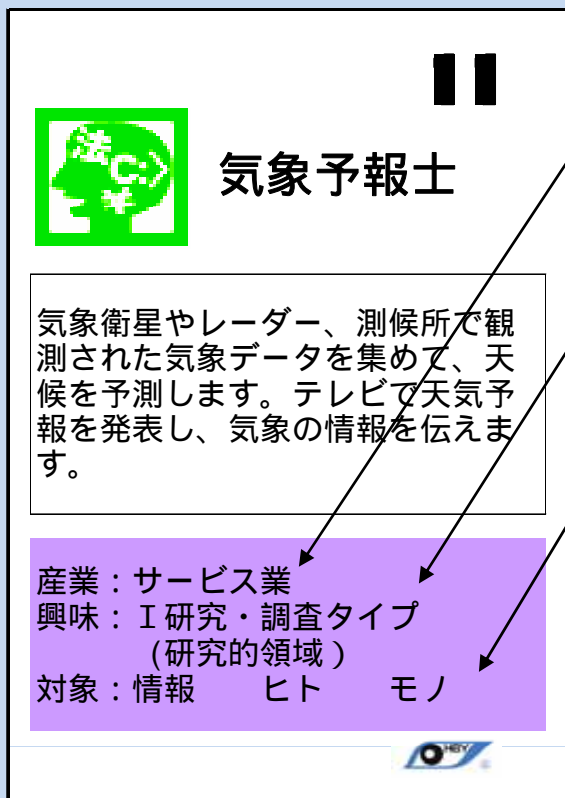
**職業名:** 職業の名称を記載

**カード番号:** 職業名の「あいうえお」順に通し番号を記載

(整理などのために便宜的に振った番号で、順序に意味はない)

**職業情報:** 70～80字で

職務内容を簡潔に記述



OHBY CARD for Meteorologist (気象予報士). The card features a green icon of a person with a weather globe, the title '気象予報士', and a description of the job: '気象衛星やレーダー、測候所で観測された気象データを集めて、天候を予測します。テレビで天気予報を発表し、気象の情報を伝えます。' Below this, a purple box lists: '産業：サービス業', '興味：I 研究・調査タイプ (研究的領域)', and '対象：情報 ヒト モノ'. The OHBY logo is at the bottom right of the card.

## 詳細分類:

**産業** 産業分野を記述

(日本標準産業分類に準拠)

**興味** 「ホランドコード」を記載

**対象** 「DPT分類」を記載

何を対象とする職業かを示す。

D: DATA (文字や数字)

P: PEOPLE (人)

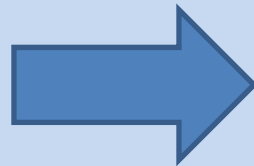
T: THING (モノ)

:高 :中 :低

# 職業選定の基準

職業ハンドブックOHBY記載の430職業中、  
48職業を抜き出して作成。

VPIの興味領域「RIASEC」の6領域に準拠  
→職業興味を刺激するようバランスよく選定



職業興味を網羅！

OHBY職業パノラマ、日本標準産業分類と比較  
→特定の産業や職種に偏らないように選定

OHBY(12分野)  
産業分類(19大分類) } 考慮

DPTのバランスに考慮

→高・中・低に、極端な偏りがないように考慮

➡ 職業興味を優先して選定！



## 多くの人に理解可能な職業であるか →中高生がイメージできる職業を選択

「職業認知調査(中高生対象)」(2000年実施)

424職業に対し、「イメージできない」、

「知りたい」、「やってみたい」をそれぞれ質問

JIL資料シリーズNo.112

「中学生・高校生の職業認知」に所収  
(労働図書館にて閲覧可能)

<http://www.jil.go.jp/lib/index.htm>)

## 絵・写真の絵柄や雰囲気

- ・見た目のわかりやすさ

OHBYに掲載された6つの絵や写真の中から、見た目のわかりやすさを考慮して選択

- ・描かれているのが男性か、女性か

男女に偏らないように考慮

例：化学者 絵・写真に、男女両方を記載



**総合的に判断をして選択！**

# 「標準手続き」について

海外で行われてきた、「一般的な使い方」  
従来のカードソート技法をもとにした、  
「標準手続き」を記載

3ステップ:「分類」、「選択しない」、「選択する」

「標準手続き」 → 独自に工夫が可能！

# 具体的な活用の方法

「自己使用型」

個人でカードを使用

「個別カウンセリング型」

キャリアカウンセリング場面での活用

「グループワーク型」

グループディスカッションをしながらの活用

他、集团的に活用、授業内で活用・・・



## 課題・ワークシートとの組み合わせ

課題やワークシートとの併用により、  
効果的なキャリアガイダンスを実施可能

職業カードセッション分析シート

職業興味シート:「RIASEC」解説

職業分野シート:「職業分野マーク」解説

クライアント用シート

カウンセラー用シート

職業カード分析シート(個人用簡易シート)

**OHBY  
CARD**



# 職業カードセッション分析シート

## 職業カード分析シート

番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

### セッションの前に・・・

将来の進路について、現在、考えていることを自由に書いてみましょう。

### 第1セッション 分類の結果は？

カードの絵や写真を見ながら、「選択する」「考え中」「選択しない」にカードを分類し、枚数を記入しましょう。

選択する	考え中	選択しない
枚	枚	枚

### 第2セッション - A 選択しなかったのはどんな職業？

選択しなかに分類されたカードを見て、どのような理由から選択をしなかったのか、同じ理由で選択しなかったカードを集めていくつかの山をつくり、分類をしてみましょう。

理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから

### 第2セッション - B 選択しなかった職業は何色の職業？

選択しなかったカードをまとめ、裏面の色ごとに枚数を数えて、記入してみましょう。

赤	紫	青	緑	黄	橙
枚	枚	枚	枚	枚	枚

一番多かった色は、 職業興味でいえば、 色でした。 タイプでした。

### 第3セッション - A 選択したのはどのような職業？

選択したカードを見て、なりたい職業の順番に順位をつけてみましょう。カードの枚数が多い人は、上位5位まで、順位をつけてください。

順位	その理由
第1位	
第2位	
第3位	
第4位	
第5位	

### 第3セッション - B 選択した職業は何色の職業？

選択したカードをまとめ、裏面の色ごとに枚数を数えて、記入してみましょう。

赤	紫	青	緑	黄	橙
枚	枚	枚	枚	枚	枚

一番多かった色は、 職業興味でいえば、 タイプでした。 色でした。

### 第3セッション - C 選択した職業と選択しなかった職業の、職業興味の違いを比較しましょう！

選択した職業の中で、一番多かった職業興味の領域は……  
 でした。

選択しなかった職業の中で、一番多かった職業興味の領域は……  
 でした。

### セッションの後で・・・

職業カードセッションを実施してみた感想を、自由に書いてみましょう。

お疲れ様でした！！





# セッション分析シートの特徴

セッションの進行ぐあいをガイドする  
→内容理解の促進

シートを完成させる  
→課題の達成を明示  
成果を持ち帰ることができる  
振り返りが可能

**OHBY  
CARD**

# 職業興味シート

## VPI職業興味シート

カードの「興味」の欄には、R・I・A・S・E・Cの6つの領域が設定されています。  
これは、あなたが強く興味を持っている職業のタイプや分野を表しています。

現在の  
順位は？

セッションの  
結果では？

	<b>R 運転・操作タイプ(現実的領域) 赤色</b>	
	<p>機械や物を対象とする具体的で実際の職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、機械や装置の運転の職業、熟練技能の職業、手工芸技能の職業、 機械管理の職業などが当てはまります。</p>	
	<b>I 研究・調査タイプ(研究的領域) 紫色</b>	
	<p>研究や調査などのような研究的、探索的な職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、物理科学関係の職業、社会調査研究関係の職業、数理・統計学関係 の職業、医学関係の職業などが当てはまります。</p>	
	<b>A 芸術・芸能タイプ(芸術的領域) 青色</b>	
	<p>音楽、美術、文芸など芸術的な職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、美術・彫刻・工芸関係の職業、音楽関係の職業、演劇・演出の職業、 デザイン・イラスト関係の職業などが当てはまります。</p>	
	<b>S 対人・サービスタイプ(社会的領域) 緑色</b>	
	<p>人に接したり、奉仕したりする職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、社会奉仕の職業、医療保健関係の職業、学校教育・社会教育関係の 職業、販売関係の職業などが当てはまります。</p>	
	<b>E 企画・管理タイプ(企業的領域) 黄色</b>	
	<p>企画や組織運営、経営などの職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、経営管理関係の職業、広報・宣伝関係の職業、営業関係の職業、 財務関係の職業、報道関係の職業などが当てはまります。</p>	
	<b>C 事務・会計タイプ(慣習的領域) 橙色</b>	
	<p>定まった方式や規則に従って行動するような職業に対する関心の強さを示しています。 職業としては、経理事務関係の職業、一般事務の職業、法務関係の職業、編集・校正 の職業などが当てはまります。</p>	





## 職業興味シートの特徴

ウォーミングアップ課題として活用が可能

→自己理解の確認

VPI職業興味検査との接続

事後確認課題として活用が可能

→事前課題との比較

自己認識との差異を把握

**OHBY  
CARD**



# 職業分野シートの特徴

## 職業分野

職業の主な分野を知ること、産業や社会における職業の役割や分担の関係を理解する上でのカギになります。将来の職業を選択する場合には、さまざまな職業を比較、検討したり、職業の将来性などを知るために役立ちます。ここでは、カードに記載された12の主な職業分類について解説します。

### モノづくりの職業

現代では、多くの製品が工場での機械・設備により大量生産されていますが、工場での生産とは異なり、職人が手作りで少量生産している製品もあります。たとえば、手作りのパン、宝飾品の加工、陶磁器の制作などです。モノづくりの職業は、製品の致だけ職業があることになりませんが、大きく分ければ製造の方法や工程によって「金属などの素材の精練」「部品や材料などの加工」「機械や製品の組立」、そして「調整」などの仕事になります。

### 建設の職業

建設工事にたずさわる職業には、工事を計画し、設計し、監督する職業と、実際に工事でさまざまな作業を担当する職業があります。また、建設会社には、工事の監理や監督をおもに行う総合建設会社と、工事を実際に施工する専門工事業者があります。工場や商店で働くのとは異なり、工事が終われば別の作業場に移動することがこの仕事の特徴です。また、工事では、それぞれの作業を異なる会社が担当するので、作業場では所属や仕事が多岐にわたるさまざまな人たちと一緒に働くことになります。

### オフィスの職業

私たちが社会生活を営み、経済活動を行っていく中で、さまざまな情報が発生します。これらの情報を記録し、整理・分類し、伝達あるいは保管することによって、人與人、人と物とを結び、日々の活動を円滑に進めるのが事務の仕事です。事務の仕事には、事務の仕事全般について処理している人と、特定の専門分野の仕事をしている人がいます。事務の仕事もコンピュータなどを使いこなすことが求められるとともに、企画や調整、交渉などのより高度な判断力のいる仕事に比重が移っていくでしょう。

### 販売の職業

生産されたり、海外から輸入されたさまざまな商品を、円滑に消費者に渡していくのが販売の仕事です。販売の方法には、店を構えて販売するもの、通信販売、訪問販売などの店舗のないものがあります。前者には、さまざまな商品をそろえている百貨店、お客によるセルフサービス方式のスーパーやコンビニエンスストア、販売員がお客の要望に応えてアドバイスする専門店などがあります。

### 専門・企業サービスの職業

現代の産業社会は、経済活動が複雑にしかも広い範囲で行われており、企業や個人が独力で、とくに法律、財務、納税などについて適切に処理することが、きわめて難しくなっています。このため、一定の専門的知識や資格を持った専門家が、個人や企業を対象にさまざまな相談のつたり、依頼主にかわってその処理にあたりることが必要になっています。こうした職業に就くには、国家試験による資格や免許が必要で、依頼者であるお客からの求めに応じて、相談や専門的助言を行います。個人で開業する場合もありますが、サービスの質を高め、お客を確保するため、最近では集団や法人として活動することが増えています。

### 個人サービスの職業

経済のめざましい成長により、私たちの生活は豊かさを増してきました。そして、収入とともに余暇の時間が増えたことにより、人々のライフスタイルや過ごし方は多様になってきており、衣食住をはじめ、教養・娯楽にいたるまで、その充実が求められています。こうした、飲食をはじめ、美容・衛生などの身の回り、旅行、宿泊、スポーツ、娯楽・レジャーなどの家庭外でのさまざまなサービスの利用が増え、しかも高級化が進んだため、個人サービスの分野は急速に成長しています。

### 福祉・公務の職業

私たちは、だれでも健康で文化的な安定した生活を送りたいと願っています。しかし、家族の助け合いだけでは実現できない場合があります。たとえば、家計を支える人が病気になるたり、老人が一人きりになって援助がない場合などです。このようなときは、社会の援助や保護が必要になります。これらの仕事が福祉の仕事です。公務の仕事は、人々が安全で暮らしやすい生活を送るために必要なサービスを提供することです。このサービスは、社会のすべての人が共通に利用し、利益を受けるというかたちをとります。たとえば、生活基盤である上下水道や道路、公園などの社会資本の建設を進めたり、役所の窓口で生活に必要な手続きや許可の事務を行います。また、法務、教育、医療、福祉、警察、消防、税務などの仕事もこれに含まれます。

### 医療・保健の職業

かつて、医療の仕事といえば、医師と看護師くらいでしたが、その後、歯科医師や薬剤師が加わり、医療の基本的な形が整いました。しかし、医療が進歩した今日では、これらの人たちだけでは十分な医療を行うことはできなくなり、各種の検査技師や療法士などの職業が生まれています。医療分野の仕事では、生命に関わる仕事であり、かつ要求される技術や知識が高度なため、その多くは国家資格が必要で、

### 教育・研究の職業

私たちが現在持っているさまざまな能力は、生まれた後、家庭内から大学まで、いろいろな場で長い時間をかけて学習してきた結果であるといえます。教育はこのように人々の学習を援助し、方向づけるものです。研究は、最先端の科学・技術や知識を探究する仕事です。大学や企業、国の研究所などで、物理などの自然科学系、経済学などの社会科学系、人文科学系の研究者が、専門の分野の研究をしています。

### 運輸の職業

人や貨物を、輸送機器を用いて、安全で迅速に目的地まで輸送するサービスを提供するのが運輸の仕事です。いうまでもなく、運輸の仕事の要は、運転・操縦の仕事です。陸、海、空のいずれの輸送においても、高度の技術や知識、そして機敏な運動神経と精神集中が求められます。それらがある水準に達してはじめて就ける仕事です。そのため、長期の訓練や実地経験が要求されます。また、輸送が高速化し、高度化するほど安全輸送のための技術やシステムが求められ、そのための人員が必要となります。

### マスコミ・デザイン・芸術の職業

今日、私たちが日常生活を営んでいくためには、政治・経済や国際社会などの情報をはじめ、スポーツ、芸能、娯楽まで幅広い情報が必要になります。このため、私たちはさまざまな情報媒体から多様な情報を吸収しています。その代表的なものが新聞、雑誌などの印刷物、テレビやラジオなどの通信媒体です。これらをマスメディア（大衆に大量の情報を伝達すること）といえます。新聞や雑誌では、取材して記事を書く記者や記事をつとめる編集者、テレビ・ラジオでは、アナウンサーや放送技術者、番組を指揮する放送ディレクターなどがいます。デザインの仕事はマスメディアや広告の発達とともに、量産可能な映像やイメージの制作として発達してきました。デザインの分野には、環境や内装のデザイン、印刷物や広告のデザイン、工業製品のデザインそして服飾のデザインがあります。芸術・工芸分野の仕事は、人々に文化や楽しみを与え、生活を豊かにするものです。基本は音楽、文学、絵画、彫刻、工芸、演劇、舞踊などの職業です。これらの職業に、とくに資格や免許は必要ありません。しかし、いずれも創造性に加え、優れたセンス、技能が要求されます。

### 自然・動植物の職業

古くから人間の生活を支えてきたのが自然、とくに動物や植物です。これらは食料や木材として欠かすことができないものです。また、動物はほみや、レジャーや生活のパートナーとしても活躍しています。農業、林業、水産業、畜産業は、私たちの日々の生活に必要な衣食住の材料を供給してきました。これらの産業に従事する仕事のほかに、動物の高い運動能力や感覚能力を活かして人間の生活に役立たせる調教や訓練の仕事、私たちの目を楽しませる動物園や水族館、日々の生活に豊かさを与える庭園・園芸に関する仕事があります。

## 職業分野の傾向を把握

## →自己の興味や関心の確認

# 興味と合わせて考察可能・・・自己理解が深まる



# クライアント用シートの特徴

## イントロダクション・シート

将来の進路について、現在、考えていることを自由にお書きください

## 職業カードセッション分析シート

選択する	考え中	選択しない
職種では？		
産業では？		
興味では？		

1対1・対話中心  
セッション進行を想定

→簡潔、自由度高  
自己の内省を促進



# カウンセラーシート

**職業カードセッション カウンセラーシート** 相談者名 \_\_\_\_\_

**セッション1 分類セッション**

職業の属性を見ながら、「選択する」、「考え中」、「選択しない」のグループに分類します。

NO	職業名	属性	選択の有無	理由・特記事項
1	アニメーター	A	×	
2	制作経営者	R	×	
3	医療事務員	C	×	
4	外交官	S	×	
5	化学者	I	×	
6	学校事務員	C	×	
7	カメラ組立工	R	×	
8	カメラマン	A	×	
9	ガラス工芸家	A	×	
10	看護師	S	×	
11	気象予報士	I	×	
12	空港旅客係	C	×	
13	工業デザイナー	A	×	
14	航空管制官	C	×	
15	コーヒーストック店員	S	×	
16	産科カウンセラー	S	×	
17	歯科医師	I	×	
18	自動車販売員	E	×	
19	司法書士	C	×	
20	獣医師	I	×	
21	小学校教員	S	×	
22	高社営業部員	E	×	
23	新聞記者	E	×	
24	診療放射線技師	I	×	
25	スーパー店長	E	×	
26	税理士	C	×	
27	ソフトウェア開発技術者	I	×	
28	大学・短期大学教員	I	×	

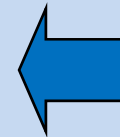
  

NO	職業名	属性	選択の有無	理由・特記事項
29	大工	R	×	
30	ツアーコンダクター	E	×	
31	デパート仕入部員	E	×	
32	電車運転士	R	×	
33	とび	R	×	
34	日本語教師	S	×	
35	俳優	A	×	
36	ハンバーガー店マネージャー	E	×	
37	秘書	C	×	
38	ファッションデザイナー	A	×	
39	保育士	S	×	
40	放送ディレクター	E	×	
41	ホームヘルパー	S	×	
42	翻訳者	A	×	
43	マンガ家	A	×	
44	薬剤師	I	×	
45	酪農家	R	×	
46	旅行会社カウンター係	C	×	
47	路線バス運転者	R	×	
48	初年子職人	R	×	

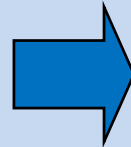
グループに分類されたカードの枚数を数えます。

選択の分類	枚数	特記事項
→ 選択する		
→ 考え中		
× → 選択しない		

分類の特徴・気づいたことなど



【1～2ページ】



【3～4ページ】

**セッション2 選択しないセッション**

選択しないカードについても、適宜な理由が記されているカードをあらかじめ、小グループを作り、決まらざるまでカードの職業名

NO	職業名	決まらざるまで
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

「選択しない」に分類されたカードの裏面の色の枚数を記入します。

赤 R(現実)	紫 I(研究)	青 A(芸術)	緑 S(社会)	黄 E(企業)	橙 C(慣習)
枚	枚	枚	枚	枚	枚

これまでの内容を総合し、助言する内容をまとめて記入します。

自由記述欄

実施年月日 \_\_\_\_\_ 実施者名 \_\_\_\_\_





# カウンセラーシートの特徴

個別カウンセリング場面を想定

- クライアントがカードを分類した理由を把握
- セッションの進行プロセスを把握
- 助言する事項の明確化
- カウンセリングの記録として保管可能

**OHBY  
CARD**



# 職業カード分析シート(個人用簡易シート) の特徴

**職業カード分析シート** 氏名 \_\_\_\_\_

**第1セッション 分類の結果は?**  
それぞれに分類されたカードの枚数を記入しましょう。

選択する	考え中	選択しない
枚	枚	枚

**第2セッション 選択しなかったのはどんな職業?**  
選択しなかに分類されたカードを見て、どのような理由から選択をしなかったのか、同じ理由で選択しなかったカードを集めていくつかの山をつくり、分類をしてみましょう。

理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから
理由 ( ) だから

**選択しなかった職業は何色の職業?**  
選択しなかったカードをまとめて裏面の色ごとに分類し、枚数を数えます。

赤	紫	青	緑	黄	橙
枚	枚	枚	枚	枚	枚

一番多かった色は、  
\_\_\_\_\_  
色でした。

**第3セッション 選択したのはどのような職業?**  
選択したカードを見て、なりたい職業の順番に順位をつけてみましょう。  
カードの枚数が多い人は、上位5位まで、順位をつけてください。

順位	その理由
第1位	
第2位	
第3位	
第4位	
第5位	

**選択した職業は何色の職業?**  
選択したカードをまとめて裏面の色ごとに分類し、枚数を数えます。

赤	紫	青	緑	黄	橙
枚	枚	枚	枚	枚	枚

一番多かった色は、  
\_\_\_\_\_  
色でした。

**まとめ...**  
自分の職業興味について考えた事を自由に書きましょう。

自己活用場面を想定  
説明書を見ながら実施

→自分一人で実施可能  
自己理解の促進



## 【表面】

### 説明書

#### 【イントロダクション】

これからOHBYカードを用いて作業をします。作業といっても、難しいことはありません。この作業によって、職業に対する興味や価値観を明らかにすることができます。

これから用いるカードは、絵や写真によって仕事の内容を表したものです。ただし、絵や写真からどれだけ正確に職業を推測できたかのテストではありません。絵や写真の様子を見て、そこに描かれている仕事に興味を引かれるか否かが重要です。

絵や写真を見て作業を続けて、自分が考えていた事と合っていたか違っていたかを見ます。合っている場合でも違っている場合でも自己理解を深めることができます。

#### 【第1セッション - 分類セッション】(「選択する」「選択しない」「考え中」の3つに分類します)

机の上を片づけて、作業スペースを広げます。

「選択する」「選択しない」「考え中」カードを取り出して机の上側に置きます。

絵や写真の方を表にして、トランプのように何度も切ります。カードをよく切ったら、絵や写真の方を見ながら、次の3つのグループに分類します(絵や写真の様子を見て、描かれている仕事に興味を引かれるか否かで分類します。できるだけ絵や写真に表されている仕事だけを見て、判断します)。

「選択する」：実際に遊ぶと思う職業、特に興味をひく職業、自分に合っていると思う職業

「選択しない」：実際には選ばないと思う職業、特に興味をひかない職業、自分に合っていないと思う職業

「考え中」：関心のない職業、はっきりしない職業、考え中の職業

#### 【第2セッション - 「選択しない」セッション】(「選択しない理由」を66に分類します)

「選択しない」の山を手元に戻し、「選択する」「考え中」の山は脇に置きます。「選択しない」の山は、選ばないと思う職業です。その職業を選ばなかった理由が似ているものどうしを、絵や写真を見て、さらに小グループに分けます。

小グループに分けたらカードを裏返し、自分が「選択しない」理由で分類した職業の特徴を見比べて、自分が「選択しない」とした職業にはどんなものが多かったか、自分の思い違っていたか、そうではなかったか、などを考えてみましょう。

また、「選択しない」の山をカードの色ごとに分類し、枚数をかぞえます。最も多かったのは何色でしたか？

説明書裏面の「職業興味(VPI)解説」に照らし合わせてどの領域の職業だったのか、確認してみましょう。

#### 【第3セッション - 「選択する」セッション】(選択する職業に順位をつけます)

「選択する」のカードの山を手元に戻し、「選択しない」「考え中」のカードの山は脇に置きます。

「選択する」のカードをさらに最も好きなものから順番に5職業を選び出して順位をつけます。

カードを裏返し、自分が高い順位をつけたものにはどんな特徴があるのか、意外に順位を高くつけた職業は何だったか、自分が好きな職業の具体的な内容は何か、などを考えてみましょう。

また、「選択する」の山をカードの色ごとに分類し、枚数をかぞえます。最も多かったのは何色でしたか？

説明書裏面の「職業興味(VPI)解説」に照らし合わせてどの領域の職業だったのか、確認してみましょう。

## 【裏面】

### 職業興味(VPI)解説

カードの「興味」の欄には、R・I・A・S・E・Cの6つの領域が設定されています。これは、あなたが強く興味を持っている職業のタイプや分野を表しています。

#### R 運転・操作タイプ(現実的領域) 赤色

機械や物を対象とする具体的な実際の職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、機械や装置の運転の職業、演劇・演出の職業、機械管理の職業などが当てはまります。

#### I 研究・調査タイプ(研究的領域) 紫色

研究や調査などのような研究的、探索的な職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、物理科学関係の職業、社会調査研究関係の職業、数値・統計学関係の職業、医学関係の職業などが当てはまります。

#### A 芸術・芸能タイプ(芸術的領域) 青色

音楽、美術、文芸など芸術的な職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、美術・彫刻・工芸関係の職業、音楽関係の職業、演劇・演出の職業、デザイン・イラスト関係の職業などが当てはまります。

#### S 対人・サービスタイプ(社会的領域) 緑色

人に接したり、奉仕したりする職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、社会福祉の職業、医療保健関係の職業、学校教育・社会教育関係の職業、販売関係の職業などが当てはまります。

#### E 企画・管理タイプ(企画的領域) 黄色

企画や組織運営、経営などの職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、経営管理関係の職業、広報・宣伝関係の職業、営業関係の職業、財務関係の職業、報道関係の職業などが当てはまります。

#### C 事務・保安タイプ(慣習的領域) 橙色

定まった方式や規則に従って行動するような職業に対する関心の強さを示しています。職業としては、経理事務関係の職業、警備・監視の職業、一般事務の職業、法務関係の職業、編集・校正の職業などが当てはまります。

\* この領域は、赤・黄・青・紫・緑・橙の6色に塗り分けられています。職業興味をさらに発展させるためには、VPI職業興味検査(労働政策研究・研修機構)があります。

### 職業分野(職業パノラマ)



これは、職業ハンドブックOHBY(労働政策研究・研修機構刊)とキャリアマトリックス(<http://cmx.vrsys.net/TOPI/>)の職業分野(職業パノラマ)を示した図です。職業の分野を知ることが、産業や社会における職業の役割や分担の関係を理解する上でのカギになります。カードでは、主な12の職業の分野がマークによって示されています。将来の職業について考える場合に、このマークをもとにして職業の比較や検討をするとういでしょう。

また、職業ハンドブックOHBYやキャリアマトリックスでは、このカードにはない職業がたくさん取り上げられています。職業ハンドブックOHBYやキャリアマトリックスを利用し、もっと多くの職業について調べてみるとよいでしょう。

## 標準手続きを簡潔に記載

## 説明書を見ながら一人でセッションを実施

## →学校など集団で実施する場合、個人のペースでセッションを進行させることが可能

## 効果的なガイダンス成果

# 最後に・・・

職業カードソート技法が、  
日本で普及してこなかった原因



適切なツールがなかった！

職業カードソート技法の普及を・・・